

事務事業名	訪問看護利用者交通費助成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠
政策名	総合計画 0:6	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり		所属部門 住民福祉 部 保健福祉 課 福祉 係(グループ)
施策名	1:8	誰もが自立・充実できる福祉の推進		課長名 江口 久子 担当者名 西田 昌樹 (内558)
基本事業名	3:3:5:1	生活の安定と自立への支援		予算科目 会計 款 項 目 事業 福祉総務費一般経費
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり		環境 次世代	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 8 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)	

事業概要 在宅で寝たきりや寝たきりになる恐れのある人及び認知症の高齢者、難病患者、心身の障害などで芽室町訪問看護ステーションを使用している方に対して、訪問交通費の一部を助成する。	全体計画 (単位:千円)
	事業費 特定財源 一般財源 その他
	事業費計 (A)
	人件費 正規職員従事人数 人件費計 (B)
	トータルコスト(A)+(B)

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 利用者が芽室訪問看護ステーションを利用することにより発生する交通費相当額を、芽室訪問看護ステーションが町に対して請求をし、町がその交通費を助成(支出)する。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
17年度計画 平成16年度と同様	ア 利用延べ回数 回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 町内に在住し、芽室町訪問看護ステーションの訪問サービスを利用する方	イ 助成金額 円
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利用者の費用の軽減を図り、健康の保持と在宅生活を維持する。	ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 住み慣れた環境で生活することにより、心身の安定と自立を図る。	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない
	ア 利用実人数 人
	イ
	ウ
	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない
	ア 費用負担の軽減を感じている方の比率 %
	イ 在宅生活を維持している方の比率 %
	ウ
	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない
	ア 在宅日数 日
	イ
	ウ

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)	
投入量	事業費	千円	222	160	176	161			
	特定財源	千円							
	一般財源	千円							
	その他	千円							
	事業費計 (A)	千円	222	160	176	161	0	0	0
	人件費	人	1	1	1	1			
正規職員従事人数	年間			0.0011					
人件費計 (B)	千円	0	0	10	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	222	160	186	161	0	0	0	
活動指標	ア 回		570	586					
	イ 円		160800	176800					
	ウ								
対象指標	ア 人		11	7					
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %								
	イ %								
	ウ								
上位成果指標	ア 日								
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 住み慣れた環境で生活し、心身の安定と自立を図るために、訪問看護制度を利用する方が負担する経費を少しでも軽減すること、在宅生活の安定を図るため。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 特に変化なし
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	訪問看護を利用することによって在宅生活を継続することができる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	訪問看護というシステムは既に出来上がっているものなので、町が事業を廃止しても利用はできる。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	拡大：対象が限られているため考えられない。縮小：所得制限などで対象者を限定縮小できる。これによりコストは削減できる。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	本事業だけではなく、医療制度の在宅治療のシステムを整備したならば、成果は向上するものと思われる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 ↷ 3 改革・改善方向の部へ	訪問看護というシステムは既に出来上がっているものなので、町が事業を廃止しても利用はできるが、利用者の経済的負担が発生することから、利用減少となり訪問看護ステーションの存続自体が危ぶまれる。
	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由] <input type="checkbox"/> 他に手段がない ↷ [理由]	他の交通費助成同様に個人からの申請とする。しかしながら、このことにより現在よりも事業活動は増える。
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 ↷ 3 改革・改善方向の部へ	事業費を下げる = 助成の減となるため、利用の手控え、在宅生活が困難になる可能性あり。
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	ほとんど所要時間の無駄はない。事業活動としては最低限の活動時間と考える。
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] ↷ 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	他の交通費助成制度事業と同様に、所得制限や定率・定額負担により利用者負担いただくことも可能。

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																						
他の交通費助成同様に、所得制限や定率・定額個人負担制度を導入することにより支出を削減する。	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持				低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
低下		×	×																				

(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？

所得制限が定率・定額負担のどちらを選択するか問題がある。自立のための支援という観点では定率・定額負担が相応しいと考える。所得制限では低所得者への経済的支援となってしまう。